

1. 本園の教育保育目標

保護者の協力を得て、多くの良質な体験を通して自信を持たせ、園児個々の成長目標を達成する

- ・心情(Feeling)の豊かな子ども…「感情表出」「愛情」「他への理解」「申告意欲」「試行意欲」「連帯意欲」「正義感」
- ・態度(Manner)の良い子ども…「挨拶」「謝罪」「感謝」「懇願」「自己責任」「選択責任」「勝者の義務」
- ・自主的に行動(Behavior)できる子ども…「規律遵守」「忍耐」「勇気」「責任感」「委任追従」「自己主張」「自己顕示」
- ・個性(Identity)豊かな子ども…「演出表現」「演技」「言語」「心情表出」
 「絵画制作」「興味・関心」「集中・熱中」「創造・想像」
- ・健康(Health)な子ども…「運動・体力」「走・跳・投」「泳・潜」「持久意欲」

2. 今年度、重点的に取り組む目標、計画

- * 各学年主任を筆頭に、学年の保育見直し、実行を強化する
- * 職員一人一人が、自分の特性を理解して保育目標を立てる
- * IT化を導入し保育士の労力軽減を図る

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目(課題)		取り組み状況
①	子ども一人一人のタイムリーな課題、ねらいの記録や、伸び率を明確にする(幼児保育)	毎月末に今月の振り返りと共に次月のカリキュラムに沿って話し合いを行い、狙いを明確に達成表を作成する。狙いを持った活動を行う事で、子どもの伸びが明確に現れる。今年度は各学年に主任を任命し、学年での団結が意識づけられる様にした。
②	複数の職員が同クラスでの運営をする為、職員一人一人の目標を明確にする	毎年度初めに自分の目標を立てるが、自分の得意分野と苦手分野を意識して具体的な目標を立てる様にする。狙いを具体化することで、意識しながら、複数人で協力して保育に臨む事が出来ている。
③	保育士のアナログ作業が多く、作業に追われる。(登降園の管理、連絡帳、指導案、日誌等々、紙媒体での連絡等。)	コドモン導入に向けて、園児台帳の登録、職員の操作練習など、準備が進んでいる。また、午睡チェックも次年度より電子化する予定で進めている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

クラスでの月間目標の振り返りを行い、こどもの伸び率が明確にわかることで、次月への教育・保育活動につなげていくことが出来た。部門別目標は人材マップにおいて、ランクアップが32.9%、現状維持が65%、ダウンが2.1%だった。コドモン導入においてはじっくり時間をかけて準備することが出来たので、次年度に向けて期待が持てる。

5. 今後取り組むべき課題(次年度へむけて)

課題	具体的な取り組み方法
① 各学年のクラス担任が、こどもの成長枠を理解して教育・保育する	毎月のクラス会議にて次月分の予定を具体的に話し合い、月案に明確に計画をあげて、クラス担任全員が確認し、理解して教育・保育にのぞむ。
② 幼児担当と乳児担当が共に理解しあい、協力し合える環境を整える	シフト会議などでの情報交換、日々のインカムを通しての現状報告をタイムリーに行う。
③ 基本的社会マナーなどの強化	保護者アンケートにて、職員の挨拶やマナーについての批評を頂いているので、マナー研修や、意識調査、チェックリストなどを用いての意識向上を目指す。
④ 就労支援・育児支援の理解を高める	学べる環境を作ると共に、職員個々の理解度を、定期的に調査し確認する。

6. 学校関係者の評価

毎月末の話し合いや、狙いを明確に達成表を作成したことで、狙いを持った教育・保育活動を行っており、子どもの伸びが日々の活動や行事に明確に現れていた。
 個人の目標を掲げ、そこに向かっての意識向上を目指したが、個々によりばらつきが見られる所もあったので、今後の課題である。
 アナログ作業の軽減に着目し、少しずつではあるがスマート化の実現と、コドモンの導入に向けての準備は着実に出来ていた。
 スキルアップを感じると共に、保護者からの信頼は高まり、年度末保護者アンケートの総合評価は、過去最高の60.4%と昨年度から23.1%の上昇がみられた。次年度も更なる園の向上を期待する。
 令和2年3月24日 理事会